

令和6年度 若者支援計画に係る施策評価シート

S：予定以上に進捗している
A：予定通り進捗している
B：遅れている
C：事業を廃止

【基本目標1】すべての若者の健やかな育成

施策の方向：相談支援体制の充実

施策番号	主な施策	施策の内容	令和6年度の取り組み・方向性	令和6年度実績	回数・人数	6年度評価	担当課
1-1-1	若者相談支援窓口の設置	若者相談専用ダイヤル（わかものサポートライン）を設置し、一元的に相談を受けて、面談や専門的な機関を紹介・案内するなど、適切な支援に繋げる相談体制を推進します。	生活支援相談窓口において、自立相談支援等を行う。	生活支援相談窓口において、自立相談支援等を行った。	自立相談支援53件 就労支援0件	A	地域福祉課
1-1-2	若者相談支援情報の発信	若者や市民の方々に、相談者への支援情報を分かりやすく周知する取り組みとして、市内の学校や施設へパンフレットを配布し、また、広報や市ホームページ等で情報発信を行います。	市の広報媒体（市ホームページ）をととして、情報発信を行う。	広報たかさご及び市ホームページにおいて、生活支援相談窓口に係る情報発信を行った。	-	A	地域福祉課

施策の方向：就労支援体制の充実

施策番号	主な施策	施策の内容	令和6年度の取り組み・方向性	令和6年度実績	回数・人数	6年度評価	担当課
1-2-1	就労支援の連携	障がいも含め、様々な問題を抱え思うように仕事に就けない、就職後に仕事に定着できないといった若者が見受けられます。こうした若者に対して、ハローワーク加古川、ひょうご・しごと情報広場、若者しごと倶楽部（ジョブカフェひょうご）等の様々な関係機関と連携し、個々の状況に応じた就労支援や、就労先が決まった後も職場に定着し働き続けられるよう継続的な支援の充実を図ります。	ハローワーク加古川、ひょうご・しごと情報広場、若者しごと倶楽部（ジョブカフェひょうご）等の様々な関係機関と連携し、個々の状況に応じた継続的な支援の充実に努める。	関係機関との連携に努めた。	-	A	産業振興課
			令和6年度「地元企業合同就職面接＆相談会」を実施する。	ハローワーク加古川と連携し、「地元企業合同就職面接会」を実施した。	開催回数 1回 参加者 51名 内定者 10名	A	産業振興課
			ハローワーク加古川、産業振興課と連携して「地元企業合同就職面接＆相談会」を実施する。	ハローワーク加古川、産業振興課と連携して「地元企業合同就職面接＆相談会」を実施し、ハローワーク加古川マザーズコーナーによる出張相談会を同時開催した。 また、ハローワーク加古川マザーズコーナーによる「女性のための出張就労相談inたかさご」（新規事業）を開催し、履歴書の添削や面接対策等の就労支援を行った。	開催1回【面接＆相談会】 参加企業26社 参加者51人（男性33人、女性18人） 開催3回【就労相談】 参加者3人	A	人権推進課（男女共同参画センター）
1-2-2	地域若者サポートステーション（あかし若者サポートステーション／サテライト播磨【加古川】）との連携	地域若者サポートステーションと連携し、働くことについて様々な悩みを抱えている若者未就労者を対象に、社会参加・就労へと導くため、キャリアカウンセリングを中心とした就労プログラム（セミナー、職場体験等）により、個々の置かれた状況に応じて、個別的、継続的に支援を行います。	あかし若者サポートステーション／サテライト播磨と連携し、個々の置かれた状況に応じた個別相談やセミナー等を開催し、個別的、継続的な支援に努める。	あかし若者サポートステーション／サテライト播磨と連携し、個別相談やセミナー等を開催した。	相談会回数23回 参加者数 51名 セミナー開催数9回 参加者数 79名	A	産業振興課
1-2-3	播磨圏域連携中枢都市圏の連携	播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携して、若年求職者や女性等の就労につながる各種就労支援に取り組みます。（ジョブトライアル事業、合同就職説明会等の共同開催、若年層等への就労支援、職業訓練講座）	播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携し、情報の周知・普及を行う。	播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携し、情報の周知・普及を行った。	-	A	産業振興課